

橋詰せみ郎 せみろう 俳人、新聞記者、幼稚教育家。明治四年八月十九日攝津國川邊郡尾崎生れ、昭和九年六月二十日歿（一八七一—一九二四）。本名良一。俳號蟬蛸。西宮の警鳩塾、大阪の颯西學館に學び、明治二十年神戸師範學校卒。爾後略十年間の教職中、小學校教師時代の教へ子に俳弟子の齋田小蛸を擁して、俳誌『糸瓜』を創刊、編輯に當つた（該誌はのち小蛸主宰となり大正十七年二十七號を以て廢刊）。二十九年大阪毎日新聞社入社。大正十一年幼児保育のため「家なき幼稚園」を發企、昭和二年童心友誼會を設け、雜誌『愛と美』を創刊。五年大阪毎日児童班を興し（口演童詩を實施）。

『家庭と婦人』（大正八年十一月—二十五年五月長谷川書店）を編輯刊行し、他『家なき幼稚園の主張と實際』（昭和二年刊、復刻版・五十二年刊）等も著はす。『橋詰せみ郎エッセイ集——「愛と美」誌より』（山崎千恵子編、平成二年十月—二十日大阪・関西児童文化史研究会）関西児童文化史叢書（一）がある。

